



校訓『不惜精進』

教育目標『自主・勤勉・共生』

令和3年3月23日第 19 号

練馬区立練馬中学校

発行：校長 日下石直美

練馬中だより

《 One Step Forward (一歩前へ!) 》



R1 練馬中学校防災標語『どんな時も 人が優先 大事な命』

【ZOOM 生徒会朝礼】3月8日（月）分

◎おはようございます。生徒会長です。
都立高校の入試が終わり、卒業式まであと約二週間となりました。先輩方が卒業してしまうのはとても寂しいですが、高校に進学して始まる新しい生活を楽しんでください。

あと約一ヶ月で二年生は、最上級生に、一年生は、先輩になります。この年を振り返ってみると、全体的に挨拶が少なかったように思います。挨拶は、その場の雰囲気明るくすることができます。来年度の4月には、生徒会で挨拶運動を企画していますので、少しずつ、挨拶を習慣づけていきましょう。明るく新1年生を迎えましょう。

◎皆さん、おはようございます。美化委員長です。
3年生は、来週の木曜日、1・2年生は、終業式前日に大掃除を行います。今年、最初で最後の大掃除なので、新学期、気持ちよく生活できるようにしっかり取り組んでください。ご協力、よろしくお願ひします。

◎おはようございます。生活委員長です。
前回の生活委員会では、チャイム着席と挨拶運動について話し合いました。チャイム着席については、先月チャイム着席強化月間でした。この期間のことについては、時間を意識して皆行動できたので、引き続き時間を意識して行動してください。今朝から挨拶運動を行っています。このご時世なので、大きな声で話さなくとも、アイコンタクトや軽い会釈などをしてくれて、ありがたいです。

【ZOOM 朝礼】3月15日（月）分

皆さんおはようございます。校長の日下石です。

今日は、3学年が揃う最後の朝礼になりました。いよいよ、令和2年度が終わりになります。今週末は卒業式、来週は修了式です。新型コロナウイルスの感染防止対策で、1・2年生は卒業式に参列できません。ただし、次年度に向けての措置として、2年生は教室で、ZOOM 参観してもらいます。

3つの話をします。まず、3月11日の東日本大震災の対応についてです。協力いただき、ありがとうございました。10年経つわけですが、これからも忘れないでいきましょう。次に、タブレットパソコンです。皆さん個人個人の利活用が期待されています。ルールを守って活用していきましょう。次に、部活動です。3月8日から活動が始まりましたが、非常事態宣言発令中は、現状を維持してください。ルールと時間は、厳守です。そして、油断は禁物。くれぐれも、事故やけがに注意し、コロナウイルスも警戒してください。

結びに、3年生は卒業式で、1・2年生は修了式で、締めくくりとなります。大事な時なので、十分に注意して行動してください。

【PTA 会長より】3月15日（月）

卒業記念品（印鑑）目録を3年代表生徒に贈呈

【各種表彰を校長室から行いました】3月15日（月）

令和2年度優良卒業生 3名 3年生 Mさん、Uさん、Kさん

令和2年度体育優良生徒 2名 3年生 Sさん、Kさん

令和2年度体育努力生徒 1名 3年生 Hさん

令和2年度練馬区教育委員会児童・生徒表彰

バドミントン Sさん、チアリーディング Oさん、ダンス Iさん

令和2年度第60回書き初め紙上展 東京都教育委員会賞 Kさん

おめでとうございます

【令和2年度 練馬区立練馬中学校第74回卒業式校長式辞】

式 辞

見渡せば、校庭の桜も咲き始め、日ごとにその数を増し、春の訪れを感じます。今日ここに、練馬区立練馬中学校第七十四回卒業式が挙行できますことを、生徒諸君はもとより、保護者の皆様も安堵していることと拝察いたします。

ただ今、一人一人に卒業証書を手渡しました。練馬中学校を卒業していく百五十三名の皆さん、ご卒業おめでとうございます。保護者の皆様、かけがえのない大切なお子様が、無事、中学校三年間、そして九年間の義務教育の課程を修了し、新たに歩み始めますことを、心よりお祝い申し上げます。

卒業という節目に当たり、『お祝いの言葉』が、練馬区長前川耀男様、並びに練馬区教育委員会より届いていますので、ここで代読します。この言葉の中に、私が伝えたい「一隅を照らす」それぞれの場所で一生懸命頑張ることが、誰かのためになる。君は、なくてはならない人になる。に通じています。話を聞いて、感じ取ってくれば、嬉しいです。

《お祝いの言葉》代読

この三年間、「不惜精進」何事にも努力を惜しまず取り組んだか。今日は、振り返ってみてください。そして、「ONE STEP FOWARD」夢をもって歩いてください。皆さんには、たくさんの出会いが待っています。お元気で。卒業生の前途を祝し、式辞といたします。

令和3年3月19日
練馬区立練馬中学校長 日下石直美

【令和2年度 練馬区立練馬中学校第74回卒業式 別れの言葉】

三年前と同じように、暖かな春の風に背中を押され、今日、私たち153名は練馬中学校を卒業します。

振り返ると、仲間と協力してつくりあげた数々の思い出がそこにあります。1年生の夏。運動会や臨海学校を通して、ようやく学年全体の団結力ができてきた頃。班行動での校外学習に行き、鎌倉の歴史に触れることができました。しかし、不要物の持ち込みや入ってはいけない場所に入るなど、規則を守れない人が目立ち、先生に厳しく指導されました。これは、2年生への課題となりました。

2年生に進級して半年。都内巡りがありました。鎌倉校外学習での反省をもとに実行委員が「協守孝動」という目当てを作ったり、班長が呼びかけた。りするなど、規則厳守に重点を置きました。そのおかげで、多くの人規則を守りながら、東京の新たな魅力を発見することができました。

冬のスキー教室。東京では見られない雪に興奮したのを覚えています。実感習では、初めての人経験者も、練習するごと技術が上がっているのを感じました。仲間との交流も深まり、心から楽しむところができましました。そんなスキークラスから帰ってくる、ニュースでは、コロナが多く取り上げられ、いりました。他人事のように思っていました。急遽に広がりと、2年生の終わりを中途半端に告げられました。そして、気持ちの切り替えがつかず、時に流されるままに最上級生となっていました。

6月、不安を抱えながらも再開した学校。少しずつ普通の生活に戻りまし、たが、修学旅行などの行事はなくなっていました。心の中には、寂しさや悔しさがありました。そんな中、唯一できた体育授業発表会。模様が縮小され、悔しさがありませんでしたが、仲間と協力して、何かをつくりあげることの楽しさを改めて感じました。

また、大きな思い出の一つに部活動があります。自分が最も好きなことを選んだはずなのに、決して楽しいことだけではありませんでした。それでも、目標に向かって練習した日々。泥だらけになりながら走った校庭。みんなの汗が染みこんだ体育館。すべての努力が実ったわけではありませんが、その一つ一つは、最高の思い出となりました。心残りがあるとすれば、部活動の楽しさや魅力を後輩に伝えきれなかったことです。本来なら、努力しても越えられない壁に悔しがれる私たちの姿を見て、学んでほしかったです。部活動は、全力で取り組みれば取り組むほど楽しいものです。後輩の皆さんは、部活動の楽しさを探し、次の代にその姿をしっかりと見せてあげてください。

今まで当たり前前にできていたことが、できなくなってしまう一年。でも、その当たり前前の大切さに気付けた印象深い一年でもありました。

6組では、感謝の思いと決意を胸に6名が卒業します。

僕たちは、多くの行事を経験し、「前向きに挑戦し、みんなと協力する事」が、自分を成長させることを学びました。一つずつ成長してきた僕たちは、最高学年になり、「常に後輩の手本となる3年生」という目標を立てました。後輩たちが、協力してくれて、時には支えてくれたことで、努力を続ける。こたができました。後輩たちには、感謝の気持ちでいっぱいです。最後に僕たちちの「大きな壁」となったのは、進路の選択です。作文や面接の練習を繰り返し、将来のこうとを真剣に考え、受験に向かいました。先が見えない不安に押しつぶされそうにもなりましたが、いつも僕たちをそばで見守り、助言をくださったお父さん、お母さん、先生方、そして励ましてくださった仲間たちがいなかったら、大きな壁を乗り越えることができませんでした。共に過ごした教室。おいしかった給食。みんなと遊んだ昼休み。僕たちは、練馬中学校で学んだことに自信を持ち、感謝の気持ちを忘れず、それぞれの進路でこれからも努力していきま

